

## 令和2年度第3回 聖籠町総合計画審議会 議事要旨

日 時 令和3年3月15日（月）10:00～11:30  
場 所 聖籠町役場3階 大会議室  
出席委員 鷺見委員（会長）、佐藤委員（副会長）、横井委員、萩原委員、手嶋委員、  
臼井委員、樋口委員、木戸委員、磯部委員、阿部委員、金山委員、安尻委員、  
石坂委員、鈴木委員、小田委員、本間（栄）委員、小黑委員、神田委員、石橋  
委員、本間（敬）委員  
全体事務局 小林課長補佐、高橋主事、横山主事、大久保主事  
部会事務局 安心安全部会事務局、福祉部会事務局、教育文化部会事務局、産業観光部会事  
務局、行財政部会事務局

次 第：

- 1 開会
- 2 議事
  - (1) 部会の報告について
  - (2) 施策等の全体調整について
  - (3) 今後のスケジュールについて
  - (4) その他
- 3 閉会

---

### 6 議事

#### (1) 基本計画の審議について

委 員 （産業・観光部会の報告）

聖籠町の最大の特徴・強みは、人口の推移が横ばいであるということ、高齢化率が県内で最も低いということ、また、町のコンパクトさ。ほとんどの市町村で人口減少・少子高齢化が進んでいる中で、聖籠町は非常に珍しい町である。転入人口が非常に多いというのも特徴的。しかし、町民アンケートでは公共交通の移動や、買い物についての不便を感じている町民が多かったとのことで、そういったところを受け止めた。また、農業・漁業では他市町村と同じような課題として、担い手の高齢化、後継者不足も最大の課題となっており、こうしたところに対応策が必要だと思われる。以上のような聖籠町の特性・課題を踏まえ、これから10年の産業・観光の方向性、また、アフターコロナというところの変化も踏まえて、議論を重ねた。

委 員 （行財政部会の報告）

財政計画を始め、総合計画の10年という長い期間を見通すという

ことの重要性を認識し、検討を行った。計画は変更時を含め、町民に周知するというのを大事にさせていただきたいと思う。

**会 長** 皆様のご検討いただいた部会と直接的には関係ないかもしれないが、根のところでは非常に重要に密接につながっていると思う。

**総合政策課** 行財政の部分で、ふるさと納税寄附金について、最終的な目標を1億円としていたが、今年度で1億円を達成した。まだ伸びしろがあると思われるので、目標値の維持ではなく、最終目標を1億5千万円に変更したい。

**会 長** 2020年が現在6,000万円になっているが、これがもうすでに1億円ということか。

**総合政策課** 今年度の目標は6,000万円であったが、2月末あたりで約1億800万円の寄附がある。2020年を1億円に変更し、1年ごとに目標を1,000万円ずつ増やす。

**会 長** もう少し頑張れないかという意見等もあるかと思うが、5,000万円くらいが、伸びしろとして妥当と考えたということか。

**総合政策課** この2、3年で返礼品を増やしたり、ポータルサイトを追加している。今後はこれを維持していくことが大変と考えているため、伸びしろは5,000万円くらいと考えている。

**委 員** 産業・観光部会の食育の推進について、地場農産物の素晴らしさを子供たちへ伝承すると記載されているが、教育文化部会でも子供たちの教育ということをいろいろ考えている。聖籠町の豊かな自然、農産物というリソースがあるので、もっと子供たちが、地場農産物に触れる機会を、両方の部会で連携しながら創っていくのも良いのではないかと思ったので、今後考えていただきたい。

**委 員** 子ども教育課において、食育を通じた交流事業を継続して行っている。基本方針の中で、観光産業との協働を推進するとしているが、ご提案がありましたので、これをさらに違った形で展開していくのも良いと考えている。

**委 員** 会食の時に、生産者の方からお話をいただくなど、もう少しふくりますことができたらよいのではと思う。子供たちは何気なく過ごしているようでいて、いろんなものを見ている。せっかく聖籠町の豊かな農産物もあるし、自然もあるので、学校に生産者の方に来ていただくということだけでなく、子供たちがもう少し外に出て行って、生産者の方と交わるような形というのもあるとよいのではと思う。

**会 長** 会食とは具体的に何をするのか。

**子ども教育課** お米農家の方や、農協の方、農産物を生産している方々を招いて、実際に同じ給食を食べて、どのような工程で生産しているかという話を聞いている。

**会 長** 第3部会と第4部会で、子供に対する産業育成のようなどころの連携をうまく取って、文章等で書き込むとつながりが見えてきて、より良いのではと思うため、ご検討いただきたい。

**委 員** 地域づくり活動団体数について、項目を見ると社会教育課は管轄する部分がないということか。地域学校共同本部やボランティア団体やNPO法人等も絡んでくる部分かと思われるが、どういう形で主管課が決定されたのか。

**総合政策課** 主管課に載っているのが、基本計画の中で、地域づくり団体を育成していく等の目標が掲げられていた課になる。委員のおっしゃるように、社会教育課もNPO法人や学校地域本部、ボランティア団体があるため、追加し、連携していきたいと思う。

**委 員** 現状75団体であるが、目標も75団体で施策的によいのか。

**総合政策課** ボランティア活動団体が少なくなっている中で、維持していくのがかなり大変な状況であるため、今ある団体を維持したい。

**会 長** 聖籠さわやかクリーンサポート登録団体数は、地域づくり活動団体数とは関係がないのか。現在27で目標が35となっている。

**総合政策課** 整合性を図り修正する。

**委 員** 人権に関する項目は、子ども教育課や図書館との連携を考えて追加されたのか。それとも、他の課との連携ができていた中で出てきたのか。

現在聖籠町に技能実習生として来ている方が何人いるのか。ごみの分別等で地域の住民とトラブルになっているという話を聞いたことがある。そうすると他の課との連携というのでも必要では。

**総合政策課** 町の方で、人権計画というものが策定され、その推進体制というものをも明確にしたいということがあった。最初は町民課が担当課のため、福祉部会の方で検討していたが、部会間で調整し、ここの項目に新たに追加したという経緯になる。人権計画の推進については、全課で連携を取っていきたい。

**町民課** 外国人登録者数として310名、技能実習生はそのうちの216名となり、率にすると69.7%、7割近い方が技能実習生として現在聖籠町で暮らしている。

**総合政策課** ごみについては生活環境課、文書の配布は総務課等さまざまな課にまたがっている。交通安全の関係、防災の避難や、有事の際の避難所等、今後、どういう風に周知していけばよいか、企業との連携等についても考えていかななくてはいけない。

**会 長** 今後具体的な施策・事業として、外国人との共生について取り組んでいくということで、理解をいただければと思う。

**委 員** 担当部署が全体に広がってケアをしてほしい。人権を守ることは

基本的なことなので行財政部会でいいかとは思いますが、担当部署は東港が良いかと思う。そこから町民課や生活環境課等に橋渡しをしてもらうという形でもよいと思うため、今後検討していただきたい。

**会 長** 総合計画の審議を皆様にしていただくことで、部局横断的に対応していかなくてはいけない問題であるということが改めて認識される。

**事務局** 資料3に沿って説明

**会 長** この基本理念でいきたいということか。

**総合政策課** 町長にも確認し、わかりやすく、見てすぐイメージできるものが良いのではないかとということで了承は得ている。

**会 長** 町の方でわかりやすさを重視したキャッチフレーズを挙げていただいた。このような形で皆様にご賛同いただけるかどうか。生まれてよかった、住んでよかったというところは、定量的には把握できない。どこで把握するかというと、それぞれの部会でお考えいただいた施策目標を達成することで、最終的に、本当に生まれてよかった、住んでいてよかったと思ってもらえるということになる。抽象的な表現にとどまるころはあるが、これを町の今後のキャッチフレーズにしていきたいということ。

**事務局** 資料4に沿って説明

**会 長** 総合計画と総合戦略というのは別々の計画ということではなく、総合計画の中に総合戦略が入っているという位置づけなので、今回新たに、総合戦略でまとめた人口対策が加わっている。人口のベースができていないと施策の立案はできないため、きちっとした人口予測に基づいた施策立案が総合戦略でされており、今回の総合計画の中でもされているという理解をしていただきたい。

**総合政策課** Iの「安全に暮らせる環境づくり」を「安心に暮らせる環境づくり」に、IIの「IoT社会を切り開く子供の育成」を「情報化社会を切り開く子供の育成」に変更したい。

**委 員** I安心に暮らせる環境づくりというのは、日本語の表現に少し違和感がある。安心して暮らせる環境づくりになると思うし、表題については「誰もが安心で」というのには互換的に違和感がある。

**会 長** 細かい文言の修正は町に一任して良いと思う。安心と幸せを両方成り立たせようとしているため、つながりが悪くなっていると思うので、幸せに集約してもよいと思う。

**委 員** 総合計画は、何年かの中にチェック機能というのが必要になってくると思うが、それはどのようなようになるのか。町の方だけのチェックなのか、各委員でのチェック機能になるのか。

**総合政策課** 今までは、5年に1度、後期計画を作成する際に、評価を行って

た。今後は毎年、評価を行っていきたいと考えている。結果の報告については、まだ決定していないが、外部の方にも評価の報告をしていただけると考えている。

**委 員** 長期になると委員の方も何をしていたか忘れてしまう。新しい策定をするまでだと長すぎるため、町の方でそのような形で進めていただけると安心。

**会 長** 毎年やるということでもいいか。

**総合政策課** まだ決定ではないが、毎年評価をしたいと考えている。ここに関わってきた方に報告するという形であるなら部会という形になるのか、改めて検討したい。

**会 長** 5年後には新しい課題や様々な変化が起きていると思われる。定期的にチェックしてもらうことは大事だと思うためお願いしたい。

**委 員** 総合戦略の方では、人口減少というところで、仕事づくり、農業と観光、東港の経済振興と3つ挙げられているが、人材確保の困難性が生じるというのはこの3つだけでなく、すべての産業分野に関わると思う。そこを総合戦略レベルできちんと位置付けるということをやっておかないといけないのではないかと思った。福祉分野でいくと、もうすでに介護人材の確保困難というのは町内の社会福祉法人で発生している。今後聖籠町の人口減少の問題というのは各産業分野で起きている人材確保の問題を丁寧に見て、それに対するアクションを次年度以降起こしていくべきと考えている。

**会 長** 聖籠町の現状としては、高齢化が進んでいないが、10年間で確実に進んでいくし、生産年齢人口も減少していくため、現在他市町村で起こっている問題というのは聖籠町でも起こってくる。総合戦略の中でも併せて検討していきたい。

**総合政策課** ご指摘いただいたことについて記載させていただきたいと思う。

**委 員** 福祉部会だけでなく、介護保険や地域福祉や障がい者の計画づくりの中でも人材確保の話を進めているため、よろしくをお願いしたい。

**委 員** 外国人の実習生は、3年経つと戻ってしまい、技術の伝承や人材不足に陥るというところで困っている。聖籠町で育った方々が聖籠町の企業に就職できるような環境づくりをしていただければと思う。小さい時から聖籠町に住んで、聖籠町の企業に勤めて、「良かった、幸せでした。」と言われるような、町づくりをしていただけたらと思う。

(文責 総合計画審議会事務局 事後修正する場合があります。)